

遺言書

遺言者□□□□は、次のとおり遺言する。

- 遺言者は、遺言者が所有する次の不動産を、長女▲▲▲▲▲(昭和○○年○月○日生)に相続させる。
 なお、長女▲▲▲▲▲が、遺言者の死亡以前に死亡または相続を放棄した場合は、本項によりその者に相続させる財産を、長女▲▲▲▲▲の息子■▲▲▲▲(昭和○○年○月○日生)に遺贈する。

(1) 土地

所在 ▲▲県▲▲市▲▲丁目
 地番 ○○番
 地目 宅地
 地積 ○○○㎡○○

遺言により財産分配を予定していた相続人が先に死亡した場合等、該当財産を死亡者に代わって他の誰にいくらあげるのかを記載した遺言を補充遺言といいます。

右記(1)(2)の情報は、不動産登記簿謄本などに記載されています。

(2) 建物

所在 ▲▲県▲▲市▲▲丁目○○番地
 家屋番号 ○○番
 種類 居宅
 構造 木造かわらぶき2階建
 床面積 ○階 ○○㎡○○
 ○階 ○○㎡○○

- 遺言者は、次の金融機関における遺言者名義の預貯金、株式、投資信託、その他の預託財産のすべてを遺言執行者をしてすべて換金した上でその換金により得られた金銭を、長女▲▲▲▲▲(昭和○○年○月○日生まれ)に1/2、長男◇◇◇◇◇(昭和○○年○月○日生まれ)に1/2の割合で相続させる。

〈金融機関の表示〉

○○銀行▲▲支店
 ○○証券▲▲支店

～ 中略 ～

3. 遺言者は、本遺言の実現のために遺言執行者として、長男◇◇◇◇
◇◇◇◇(昭和〇〇年〇月〇〇日生)を指定する。
4. 遺言者は、祖先の祭祀を主宰すべき者として、長男◇◇◇◇◇◇
(昭和〇〇年〇月〇〇日生)を指定する。

以 上

付言事項

▲▲、◇◇◇◇、2人のおかげで幸せな人生を送ることができました。どうもありがとうございます。

2人で仲良く相続してくれることを信じていますが、▲▲のことが心配なため、このような遺言を書くことにしました。

◇◇◇◇には、少し少ない財産分けとなりましたが、自宅の購入資金の贈与などを行っているので、そのようなことも含めて理解してください。

〇〇〇〇年〇月〇〇日

△△県△△市△△ 〇の〇の〇

□□ □□ (印)

付言事項にご自身のお考えを明確に記しておくことが円滑な相続のために重要です。

本見本はあくまで特定遺贈の一例をイメージしていただくために三菱UFJ信託銀行が作成したものです。